

都立青梅総合高等学校 全日制課程

No.1 平成30年度子供の体力向上推進優秀校に！

この度、保健体育の授業や体育的行事の工夫、全校的な部活動の振興などにより、子供の体力を向上するための優れた取組を実施していることが認められ、平成30年度子供の体力向上推進優秀校として表彰されることになりました。今後も、「総合的な子供の基礎体力向上方策」に基づき、生徒の体力向上の取組を推進します。

No.2 農業講演会を実施

5月7日（火）5・6限、1年次生が「産業社会と人間」の授業で、筑波大学名誉教授の中村徹先生から「農学への招待」というタイトルで、モンゴルでの植生調査の経験を基に、モンゴルの砂漠化の現状と森林の機能について講演を聞きました。今回の講演では、「食農」に興味のある生徒から活発な質問が出ました。

広大な敷地と特色ある施設を活用した農業科目を生かして、食農系への進路希望をもたせ、実現させる食農教育改革を推進していきます。



No.3 8人のモデルの時間割」で基礎的・汎用的能力を育てる

14期1年次生は5月21日（火）、クラス代表が「8人のモデルの時間割」を学年全体の前で発表しました。他の班の発表を聞き、自分が作成した時間割と比較することで時間割作成の理解を深めました。また演劇、MCを取り入れるなど各班それぞれ「伝える工夫」がされており、表現力を高めることができました。今回の活動を2学期から始まる時間割作成につなげていきます。



No.4 「南極観測という仕事」について学ぶ

令和元年5月21日(火)6時間目、産業社会と人間の授業「職業人講話」で国立極地研究所 助教 平沢尚彦先生に「南極観測という仕事」というテーマで講演して頂きました。オーロラや、地球温暖化と南極、南極観測での苦勞などお話ししていただき、研究職とは何か、その一端を感じることができました。最後には生徒から質問があがる場面もありました。



No.5 国際交流リーディング校

～ 韓国・釜山外国語大学との国際交流協定を締結 ～

6月21日(金)、韓国・釜山外国語大学との国際交流協定の締結を行いました。選択科目として「ハングル」「ハングル発展」を設置しており、ハングル語や文化を学ぶことができるカリキュラムとなっています。

今後、この協定に基づいて、学校が推薦した生徒は入学金が免除され、同大学の入学が可能となりました。

